

福島県 南相馬市

福島県南相馬市



拡める

電力負荷の平準化とヒートポンプの活用によってランニングコストを低減



南相馬市小高区役所庁舎



南相馬市中央図書館

福島県浜通り地方に位置する南相馬市は、2006年1月、小高町・鹿島町・原町市の1市2町が合併して誕生した。人口は7万人を超え、浜通り北部の中核都市として発展を続けている。国の重要無形民俗文化財に指定されている相馬野馬追でも知られる。

南相馬市では旧市町の区域を地域自治

区としており、旧庁舎に小高区役所が設置されていたが、老朽化などによりさまざまな問題が生じていたため、改築することとなった。09年3月、新しい庁舎が完成し、市民サービスの向上や防災拠点としての活躍が期待されている。

09年12月には、市の中心部である原ノ町駅前、中央図書館が開館した。蔵書は

約21万冊。市の教育の中心施設としての利用が期待される。また、併設された市民情報交流センターには、マルチメディアホールや広場・会議室・喫茶などの施設があり、市内外の情報が飛び交う空間を目指している。

これらの公共施設は、「夜間負荷が小さい」、「稼働が通年」、「長期間運営される」などの特徴があるため、電力負荷の平準化とヒートポンプの活用によってランニングコストを低減するエコ・アイスを採用した。CO₂も削減でき、低炭素社会の実現に向けて実績を重ねている。

南相馬市の蓄熱システム導入実績

小高区役所庁舎 2009年
エコ・アイス(ビル用マルチ)：20馬力相当×3台、16馬力相当×1台(以上、三菱電機)

南相馬市中央図書館
(南相馬市民情報交流センターを併設) 2009年
エコ・アイス(ビル用マルチ)：20馬力相当×2台、16馬力相当×3台、13馬力相当×2台、10馬力相当×1台(以上、三菱電機)